

横浜市「オンライン実習」 参加の際の注意事項

1 横浜市 Web インターンシップ「オンライン実習」(以下、「オンライン実習」という)の参加にあたって

- (1) オンライン実習に参加決定した学生(以下、「参加者」という。)は、次の行為を行わないものとします。
 - ア 横浜市の信用を傷つける行為及び不名誉となるような行為
 - イ 横浜市や他の参加者の知的所有権やプライバシー、その他人権等を侵害する行為
 - ウ 横浜市や他の参加者を差別、批判、攻撃、誹謗中傷する行為
 - エ オンライン実習の運営を妨げる行為、またはその恐れのある行為
 - オ オンライン実習を通じて入手した情報を私的利用の範囲を超えて使用すること
 - カ 虚偽の内容に基づいて参加すること
- (2) オンライン実習の内容の変更、中断、中止などにより発生した参加者の損害すべてに対し、横浜市は一切の責任を負わないものとします。また、オンライン実習の参加により参加者または第三者が被った損害に対しいかなる責任も負わないものとし、損害賠償をする義務は一切ないものとします。
- (3) 参加者は、システム障害などの事情により、オンライン実習に支障が生じ、または停止する等の可能性があることを承諾するものとします。
- (4) 参加者は、身分証明のため顔写真、氏名、学校名、学部・学科・専攻が記載された学生証の写しを事前に横浜市に提出することとします。
- (5) オンライン実習の参加にあたっては、原則、Zoom に接続できる PC 端末を用意することとします。

2 参加場所のセキュリティ対策について

- (1) 参加場所は自宅内とし、参加者の私用端末及び私用回線を利用してください。
- (2) やむを得ず自宅以外で参加する場合、参加者は事前に横浜市の許可を得てください。
- (3) 参加場所について、次に掲げるリスクを考慮し、事前に安全性を確認したうえで参加してください。
 - ア 覗き込みや立ち聞き等により、オンライン実習の内容が第三者に漏えいするリスク
 - イ 目的外の情報が映り込む等により、意図しない情報がオンライン実習上で発信されてしまうリスク
 - ウ 周囲の騒音等により、通話品質を確保できないリスク

3 利用端末のセキュリティ対策について

- (1) オンライン実習に利用する端末について、次に示す対策が実施されていることを事前に確認したうえで参加してください。

- ア Windows、iOS、Android 等、端末の OS が最新化されていること
- イ 利用するソフトウェアが最新化されていること
- ウ ウイルス対策ソフトを導入する等、ウイルス感染対策が行われていること

4 利用回線のセキュリティ対策について

(1) オンライン実習に利用する回線について、次に掲げる事項について事前に確認したうえで参加してください。

- ア 回線契約において通信量の上限が定められている場合、オンライン実習の参加にあたり十分な通信量が残存していること
- イ WiFi 及び LTE 網を利用する場合、無線通信の電波状況に問題がないこと
- ウ 自宅の回線を利用する場合、ルーターのファームウェアを最新版にアップデートする等、信頼できる回線を利用していること

5 提供された個人情報の横浜市による利用について

- (1) 参加者は、参加者から提供された個人情報を、横浜市がオンライン実習実施の目的及びこれに準じる情報提供の目的で利用することを承諾するものとします。
- (2) 横浜市は、正当な理由なく、利用目的を超えて参加者の個人情報を使用したり公開したりしないものとします。

6 その他

この注意事項に定めるもののほか、参加にあたって必要な事項は別途お知らせします。